

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	通正 使用 特異	感染症(PT)	出典	概要
889	2008/01/30	70889	バクスター	アルリオクトゴグ アルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤 (抗第Ⅳ因子 モノクローナ ル抗体製造 用-2)	ウシ肝臓	米国又はカ ナダ	製造工程	無	無	無	鳥インフルエン ザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1348- 1353	2006年5月にインドネシアのスマトラ北部でおよび2005年12月にトルコ東部の家族で観察されたトリインフルエンザH5N1の集団が、ヒト-ヒト伝播によるかを統計的方法を用いて調べた。スマトラの例ではヒト-ヒト伝播の統計学的エビデンスが見られ、概算された2次感染率は29%、局所的増殖数の下限値は1.14であった。トルコの例ではヒト-ヒト伝播のエビデンスは得られなかった。
890	2008/01/31	70890	デンカ生 研	発疹チアスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受 精卵	製造中止に より記載な し	製造工程	有	無	無	鳥インフルエン ザ	第55回日本ウイル ス学会学術集 会 2007年10月21-23 日 216	2007年に宮崎および岡山県で発生したH5N1型高病原性鳥インフルエンザの発生例から分離したウイルス4株の全塩基配列を決定し、また、病原性について調べた。4株は遺伝学的に極めて近縁であり、2005年中国青海湖で死亡した野鳥から分離された系統に属していた。鶏では接種鶏全てが死亡した。50%マウス致死量は5x100EID50であった。またウイルスは接種マウスの肺だけでなく脳からも回収された。
891	2008/02/07	70891	味の素	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカル シウム	健康なブタの 腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無			
892	2008/02/08	70892	あすか製 薬	日局カリジノゲンナーゼ	カリジノゲ ナーゼ	ブタ降膜	中国	有効成分	無	無	無			
893	2008/02/08	70893	あすか製 薬	日局ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン	ヒト絨毛性 性腺刺激ホ ルモン	ヒト尿	中国・ブラジ ル	有効成分	有	無	無	鳥インフルエン ザ	CDC Emerg Infect Dis 13(9) 2007年9 月	インドネシア北スマトラおよびトルコ東部の家族群で観察された高病原性トリインフルエンザAサブタイプH5N1感染が、ヒト-ヒト伝播によるものかを調べるため統計的方法を用いた。感染の2次の発病率(SAR)および局所的な基本再生産数(R0)を算出した。スマトラの例についてはヒト-ヒト伝播の統計的エビデンスが得られたが(p=0.009)、トルコについては統計的エビデンスは得られなかった(p=0.114)。